

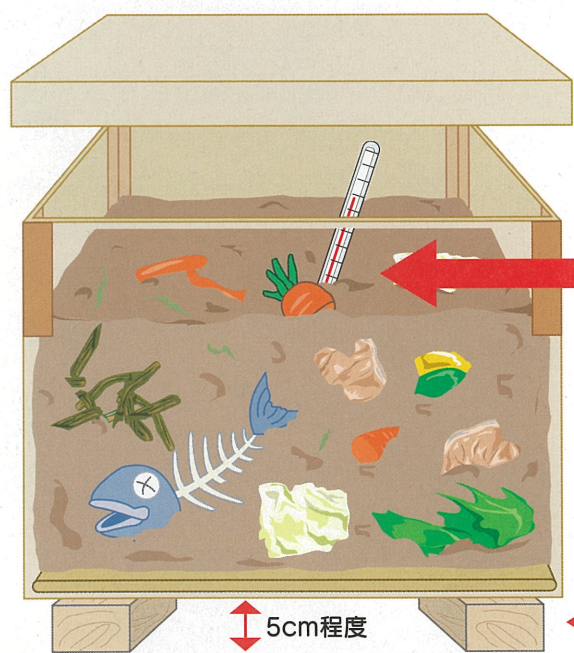
段ボール堆肥づくりの手順

1. 用意するもの (4人世帯用)

- ① 段ボール箱・・・10kgのみかん箱程度 (縦30cm×横40cm×高さ30cm程度)
- ② ふた用,中敷き用の段ボール
- ③ 箱を浮かせるもの・・・木片,レンガ,ラップの紙芯など
- ④ ピートモス・・・15リットル程度
- ⑤ もみがらくん炭・・・10リットル程度
- ⑥ かくはん用のこて・・・古いしゃもじや,園芸用のスコップなど
- ⑦ 温度計・・・必ず必要なものではありませんが,あると便利です。

2. 準備

用意した材料を使って下図のように準備してください。



別の段ボールでふたを作る。ふたは虫が入るのを防ぎ,保温や防臭の効果がある。

上ふたは起こし,ガムテープ等でとめて,箱を深くする。

中心部に温度計をさす。

基材 (ピートモス3 : もみがらくん炭2 程度の割合) を箱半分程度入れる。

底は中に段ボールをもう1枚敷き,二重にする。

床にベタ置きしないために,木片などを置き,そのうえで段ボール箱をのせる。

3. 生ごみを入れる

2で作ったダンボール箱に生ごみを入れ,よくかき混ぜてください。

1日の投入量の目安は,だいたい5~600g以内です。

(基材5リットルに対して約100g)

生ごみは分解され,重量で1/3~1/5に減ってしまいます。

※初めて投入するときや,基材が乾燥してサラサラしている場合は,コップ1~2杯の水を補給し,よく混ぜてください。湿り気は,握ってみて,少し手に残る程度がよいです。

